

TTC IPR委員会の活動状況

2014年12月15日

大阪工業大学大学院知的財産研究科

TTC IPR委員会委員長

平松 幸男

TTC IPR委員会の概要

- 1988年設立、現在は理事会直轄の組織
- 役割:TTC標準・技術仕様書に含まれる必須工業所有権の取り扱い(基本指針、運用細則*)の拡張)、TTC各組織に対するIPR関連のアドバイス
 - 委員:TTC会員
 - オブザーバ:総務省、特許庁、ISO SMB、ARIB、大学
 - 委員長:4代目(石黒一憲先生、苗村憲司先生、山田肇先生、平松)
 - 通算118回開催(月1回程度)
- 国際協調:ITU、ETSI(欧州電気通信標準化機構)、GSC(地域標準化組織間の協調会議)APT ASTAPなど
- TTC IPRセミナーの開催(過去5回程度)

*)正確にはそれぞれ、工業所有権等の取扱いについての基本指針、同運用細則

従来の活動(～2011年)

- TTC基本指針、運用細則の改訂
 - ITU, ARIBの関連規定との整合
 - 会員の総意に基づく改訂
- 主な改訂履歴:
 - 基本指針・運用細則の初版、DBの導入(1989年)
 - ITU-T/ITU-R/ISO/IEC共通特許ポリシー、ガイドラインとの整合のための運用細則の改訂(2007年、2010年)
- 著作権規程^{**})の改訂
 - 初版(2005年)、改訂(2007年): 第三者提供の著作物
- 国際協調(海外標準化組織との協力・MoUなど)

^{**})正確には、著作権の取扱いに関する規程

最近の活動(2012年～)

- ITUパテントラウンドテーブル参加(2012年)
- GSC16bis(2012年)、GSC17(2013年)参加
- ITU-T IPRアドホック継続参加(主として委員・オブザーバによる)
- ETSI、ITU-Tの議論、関連の判例などを継続的に把握し、ITU-T IPRアドホックへのTTC寄書の提出を検討(2014年12月会議への提出は否決)
- ITU-T IPRアドホックにおける日本企業の意見表明を奨励
- 副委員長を選出(ソニー・沖様)(2014年11月)

今後の予定

- GSC IPR WG(2015年4月)への対応
- ITU-Tの議論が収束したら、TTCの基本指針、運用細則への反映を検討
- 標準必須特許の円滑なライセンスの観点
- 国際協調の継続的推進
- ソフトウェア著作権ガイドラインや標章ガイドラインの策定可能性の検討
- その他、委員の意向に基づく活動の推進

参考:

- 工業所有権の取り扱いに関する基本指針、同運用細則
http://www.ttc.or.jp/j/std/committee/ipr/ipr_policy/
- 平松、「IPR委員会の活動」、TTC Report、vol.28, No.1(2013年4月)